

週刊元氣企業 TOPICS

“日本一”明るい
経済新聞
竹原編集長が発信する実践経営学
2014年10月号(毎週月曜日発行)

産業情報化新聞社 ●URL <http://www.akaruinews.com>

「驚き、発見、気づき」
エコ・タッグなど静かなヒット

マーク(☎06・6536・0134)は、タグ、ネームから進化した新商品を次々と開発し、驚き、発見、気づきの経営を展開。異業種のネットワークを活かしたエコ・タッグなど静かなヒットを飛ばしている。

「タグ、ネームの会社に動いた後、26年前に独立して時代のニーズを先取りした商品開発に取り組んでいます」と、中村正樹社長。アイデアを活かし、タグやエコ関連の商品を企画、開発する。

これまでに1000点以上の商品を開発、大阪市西区阿波座の本社事務所のショールームには、たくさんの商品が展示。その1つが、植物の種がセットされたエ



元氣企業

こだわりの独車シートを提供

FREE STYLE (☎072・350・0010)は、ドイツの自動車シート「RECARO」にこだわったカスタマイズ、修理を一筋に行う。全国のRECAROファンから注文が寄せられ、月間30〜40脚のシートを手がける隠れた元氣企業だ。



「22歳の時に初めてRECAROのシートを体験。どこまで走っても全く疲れませんでした。その時の感動がきっかけで私自身がファンになってしまいました」と豊嶋直樹社長。人間工学に基づいたRECAROシートに惚れ込み、自身も30脚を保有するマニアだ。

名刺やハガキなどの紙に種を埋め込み、土の上に置いて水をかけると紙が溶けて発芽する。手持ちの名刺に、簡単にセッティングできるエコ・タッグも商品化、月2万枚販売する人気。

電話の受話器を手で持たなくても首に簡単に挟める「らくてく」事業も推進。固定電話から携帯、スマホタイプと進化。ぬいぐるみなどにICタグとスマホを組み合わせた、オンラインワン商品も開発する。

中国、国内の協力工場、弁理士、弁護士、デザイナー、技術者約100人とネットワーク、企画から販売までトータルで展開する。「今後は地球環境や社会貢献につながる商品開発に力を入れたい」と商品づくりに挑戦する。

専門店 農薬や化学肥料を使わない 奈良のお茶集合!

奈良市神功にあるTE AND CHA (TeoGo) 4640・1622は、農薬や化学肥料を使わない奈良産茶の専門店。12の農家と契約して約80種類のお茶を店頭、インターネットで販売する。「小学生の頃に貧困のアフリカを知り、大和のお茶の栽培技術でアフリカに茶園がつくれないうかと思ったのが、お茶を生業にするきっかけになりました」と中島由紀子さん。茶育指導士、日本茶インストラクターの資格も持つ日本茶のスペシャリスト。



平成22年から日本茶の知識を活かし一般消費者、企業向けの講演活動をスタート。お茶会などのイベントもプロデュースする。一方、実家のガレージを改造して、茶葉の販売店をオープン。無農薬、無肥料の自然栽培されたお茶を採り、冠茶、煎茶、ほうじ茶、

くれるところがありません。それなら自分でやろう」と、独学で勉強して38歳で脱サラ。RECAROブランドに絞ったニッチな修理と販売のビジネスを始めた。大阪府堺市美原区の本社工場には、沖縄、秋田からも修理依頼が舞い込む。「修理や販売を依頼にわざわざ工場を見に来られる方もおられます」と、ファンの間では知られた存在だ。身長、体重、年齢、どんな車に乗って、どんな使い方をしているか、好みの色やシートのステッチなど、お客様の好みをしっかり聞いて、カスタ

ニッチな市場のビジネス

マイズする。スタッフは社長を含めて7人。縫製、ウレタン、メカの修理と担当別に対応、シートレールにもこだわる。新品シートは1脚8万円〜100万円台、修理は1万円から。

紅茶も販売。奈良産の自然栽培茶の9割が集まる。「お茶にはたくさんの薬効成分が含まれており、農薬なしの安全安心の美味しいお茶で健康になって欲しい」と。ほうじ茶で70g350円と格安で提供する。

店内には、自動で美味しい日本茶ができる試作機も設置。水を注ぎ、茶葉をセットすると、LEDで光る下部から日本茶が出てくる。「将来、アフリカで栽培したお茶をこのマシーンを使って世界で飲んでもらうのが夢です」と、大和のお茶を世界へ発信しようとしている。

竹原編集長が取材で見つけた! ツイート

人は幸せを求めます。では、幸せとは何か。難しいテーマです。夢が叶うこと、楽しいことがもしません。でも、成功された社長さんは、「何がしてあげて相手の方が喜んでおられるのを見るのが一番嬉しい」とおっしゃいます。そう、自分ではなく人を幸せにするのが、至極の幸せかも。

